

第129号  
 令和5年11月発行  
 長野県  
 社会福祉事業団  
 長野県信濃学園  
 〒390-1401  
 松本市波田 4417-8

特集  
 信濃学園の  
 取組について

【アフターコロナと信濃学園】

主任支援員 伊藤 沙織

わが国で新型コロナウイルスの感染者が令和2年1月15日に初めて確認され、瞬く間に感染者が広がり今年の5月8日に5類感染症になるまでの3年余り、行事等がなくなったりの縮小されたりと制限の多い生活が続きました。

ご家族の方や関係者の皆様、信濃学園の感染症対策にご理解ご協力いただきありがとうございます。福祉施設としてまだ国や県からの制限はありますが、信濃学園では以前のような生活ができるように取り組んでいます。

一つ目は余暇の充実です。今までは散歩も難しい時期もありましたが、今年度はバーベキューや外出も再開しています。

二つ目は地域移行です。信濃学園は児童施設のため、成人の生活に移行するための準備期間になります。コロナ禍では利用者さんがグループホームや成人施設見学をすることもなかなか難しく、警戒レベルによっては中止や延期になることもありました。しかし、高等部の利用者さんは地域移行が最重要課題であるため、5類移行後は利用者さんが施設見学を実施したり、関係者と面談したりと積極的に働きかけていきます。

新型コロナウイルスからの制限を全く受けず自由に活動できる日が早く来ますように！



【信濃学園での作業療法について】

主任心理・支援員

宮入 晃二

信濃学園では入所利用者を対象

に、毎月外部より作業療法士を招いて作業療法を実施しています。普段の生活とは場所を移し、それぞれの目的や狙いに合わせた環境を設定しています。実践にもトランポリンや平均台、バランスボールを使用し、体を大きく使うようなものからブロックやパズル、ミニカーなどを用いて指先を使うようなものもあり、それぞれの利用者に合わせた実践を通じて日常生活動作の向上を目指しています。作業療法士には日常生活動作の向上だけでなく、日常生活全般において担当職員からの相談事項にも助言をいただいております、それらを日々の支援に活かすように工夫を重ねて努めています。

近年では新型コロナウイルス感染症の猛威から中止を余儀なくされる時期もありました。それでも今年度は中止することもなく、実践を

続けることが出来ています。このような機会がいかに貴重なものであったのか、改めて実感しながら今後もより良い支援に繋がる実践を続けていきたいと思えます。



【食事について】

管理栄養士 吾妻 三智代

学園で生活している利用者の皆さんには四季の変化を感じられるよう日々の食事とおやつに季節を感じるものを提供することを心がけています。春には「桜餅」「菜花の和え物」夏には「七夕ほうとう」や郷土食である「七夕ほうとう」秋にはお月見をイメージした「お月見トライカレー」やお彼岸の「おはぎ」冬にはクリスマスやお正月、節分、バレンタインをイメージする献立を考えています。

利用者1人1人の誕生日には希

望した献立を利用者全員で味わっています。誕生日を迎えた利用者のために「メッセージカードを書いてあげたい」と人を想う気持ちが育っています。

今年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから夏には自分たちで育てた野菜を使って調理実習を行いました。畑で育てたトマトを使い「無水力レー」を作って食べました。日頃トマトが苦手な利用者も「おいしい。おいしい」とおかわりをしていました。



【余暇活動について】

支援員 勝野 享

多くの時間を寮の中で過ごしている利用者にとって余暇活動は心の潤いや生活の楽しみとして大切なものになっていきます。信濃学園で

は季節にあわせて学園全体で行う行事と、手軽な楽しみとして寮ことに企画する余暇活動がありますが、この夏休みに南寮では「野菜作り」「夏祭り」を行いました。

寮の中庭の畳一枚ほどの畑にミニトマト、キュウリ、ピーマン、カボチャ、ハツカダイコンを植えました。畑の好きな利用者と一緒に世話をし、夏休み中たくさん収穫できたので皆さんでおいしくいただきました。

夏祭りでは女子の希望者に浴衣を着てもらい、他の利用者も職員もお祭りはつぴを着て楽しみました。寮の窓や壁に夏祭りの装飾をして輪投げや的当てをしたり、かき氷やトウモロコシ、わたあめ、フランクフルトを寮内で食べたりしました。ボランティアの方に浴衣を着つけてもらい、髪を整えて飾りをつけ、普段と違うおしゃれをして楽しそうにする利用者や、祭囃子に合わせてはつぴ姿で踊り出す利用者と一緒に、皆で普段より華やかな一日を過ごすことができました。

今年度は新型コロナウイルスの制限が緩和されていろいろな活動ができるようになったり、とてもありがたく感じます。季節の行事など、心に残るような余暇活動をできるだけ行っていきたいと考えています。



【のびろ祭を終えて】

のびろ祭実行委員長

山口 智恵美

9月30日に令和5年度のびろ祭が開催されました。新型コロナウイルス感染症が5類に位置付けられたことに伴い、学園も面会や外出などの規制が緩和され、例年の規模より縮小してはありますが4年ぶりにご家族の方や地域の方をご招待し、のびろ祭を開催する事ができました。

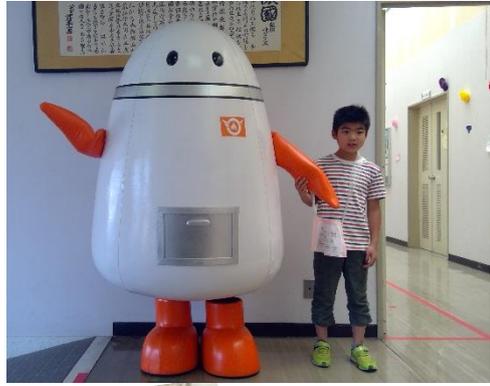
今年度のびろ祭を開催するにあたり、利用者の方とご家族の方の交流をメインに企画をしました。

コロナ禍では思うように交流ができず、利用者の方もストレスが多く溜まりました。のびろ祭という年に一度の学園行事では利用者の方の好きな食べ物、好きな活動を多く取り入れ、そしてご家族の方と楽しい思い出を作っていたらいいというテーマを大切に準備してきました。

午前の部では分室企画に参加し、一緒に体を動かしたり、フルートとピアノの演奏に合わせて楽しく歌いました。昼の部ではゲームをしたり、好きな物を買って食べたりと自由に行動しました。午後のお楽しみタイムでは人気の曲を歌って踊りました。テーマを大切に準備してきた甲斐もあり、のびろ祭後も楽しかった思い出話を聞かせていただくことがありとても嬉しく思っています。大勢の方のご協力のおかげでたくさん笑顔を見ることができました。ありがとうございました。



のびろ祭の様子



# 信濃学園写真館



## 【利用者動向】

- 6月26日 南寮利用者1名
  - 7月2日 南寮利用者1名
  - 8月7日 西寮利用者1名
  - 9月20日 東寮利用者1名
- ◎ 4名の利用者さんが入所しました。

- 6月30日 こまぐさ寮利用者1名
  - 11月1日 こまぐさ寮利用者1名
- ◎ 2名の利用者さんが退所しました。

## 【編集後記】

暑い暑い夏が終わったかと思えば、冬が駆け足で近付いてきました。利用者の皆さんと一緒に四季を感じながら日々を過ごしていきたいと思います。(T)

信濃学園ホームページアドレス

<https://nagano-swc.com/shinano/>